



東京近代「新建築」1933年

RHAPSODY OF MODERN TOKYO

モダン東京狂詩曲展

東京都江戸東京博物館開館記念協賛

1993年4月16日[金] - 6月8日[火]

主催：東京都写真美術館

開館時間：午前10時 - 午後6時（入館は5時30分まで）

休館日：第2・4水曜日

観覧料：一般・大学生200(160)円 / 小・中・高校生100(80)円

()内は10名以上の団体料金

展覧会のご案内：03(3280)0099(テレフォン・サービス)

講演会のお知らせ

テーマ：「モダン東京の都市相」

日時：5月14日(金) 午後4時 - 6時

会場：東京都庁・都民ホール(都議会議事室1階)

東京都新宿区西新宿2-8-1

講師：柏木博(東京造形大学教授)

東京都江戸東京博物館は、平成5年3月28日に開館しました。お問い合わせはTEL.03-3426-8000

東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography
〒150 東京都渋谷区恵比寿4-15-24 TEL.03(3280)0031



大久保好六 1930-35年



濱谷浩 東京有楽町 日本劇場 1933年



原甲子雄 浅草公園六区(台東区浅草二丁目) 1936年

モダン東京狂詩曲展

1923(大正12)年、東京を襲った関東大震災は、江戸の名残をとどめた都市を崩壊させてしまいました。しかし、その灰燼の中から東京は、鉄とコンクリートによるモダン都市へと不死鳥のように再生するのです。その頃はまた、欧米の影響により近代的な写真表現が「新興写真」として勃興するときでもあります。昭和に入ると、カメラとレンズの機能を生かした写真表現は、多様な展開を見せてゆきますが、中でもカメラの都市相を的確にとらえることにより、日本の写真表現に新しい位相を築きました。本展では、1920年代後半から戦争の影響が色濃くなる1940年代初めまでの、東京のモダンな都市像を中心に、同時代に活躍した渡辺義雄、原甲子雄、濱谷浩の4人の作品を、同時に活躍した掘野正雄、桑田義雄の2人の写真資料を合わせて展示します。そこには、東京の都市相が写しとめられていると同時に、わが国の近代的な写真表現が見てとれることでしょう。

RHAPSODY OF MODERN TOKYO

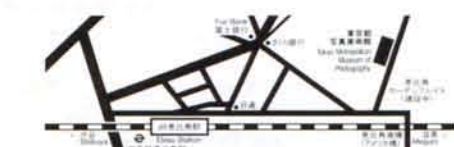


掘野正雄(撮影) 堀野義雄(構成)「大東京の性格」中央公論(中央公論社)1931年10月号



渡辺義雄「東京」フォトタイムス(フォトタイムス社)1933年4月号

<フロア・レクチャーのお知らせ>
第1回：4月29日木 / 第2回：5月9日日 / 第3回：5月16日日 / 第4回：5月23日日 それぞれ午後2時より
<次回展覧会予告>
「映像工夫展展 3D LOVE ～立体視への招待～」会期：1993年6月18日金 - 7月6日火



東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography
〒150 東京都渋谷区恵比寿4-15-24 TEL.03(3280)0031